

和歌山県立医科大学附属病院 救急科（高度救命救急センター）

当科の特徴

当センターは、ドクターヘリを活用して県内全域の重症患者さんを集約して診療すると共に、和歌山県内各病院とも連携して、地域性を考慮したよりよい救急診療体制構築を目指しています。患者さんの最終的な予後を見据えた救急医療・集中治療を実現するためには、内科系 / 外科系とか、急性期 / 慢性期などにとらわれない幅広い診療が必要です。臓器別診療に捕らわれることなく、あらゆる重症度・病期・専門領域の重複病態を管理できるようになるため、医師の基本技能である救急処置・迅速判断のトレーニングに加え、サブスペシャリティとして外科・放射線科などの様々な専門技能習得を目指します。他院・他診療科での様々な病態が重症化した際に、相談を受け「集中治療」が実施できるスキルは、臓器別専門医にはない医師の醍醐味です。また、病院前救急診療やERでの患者対応には、これか

ら我が国の医療制度が向かっていく、地域包括ケアと医療を一体化した、総合診療医の視点も必須の研修要素であり、災害医療への対応と併せて社会的な医師の役割も研修します。

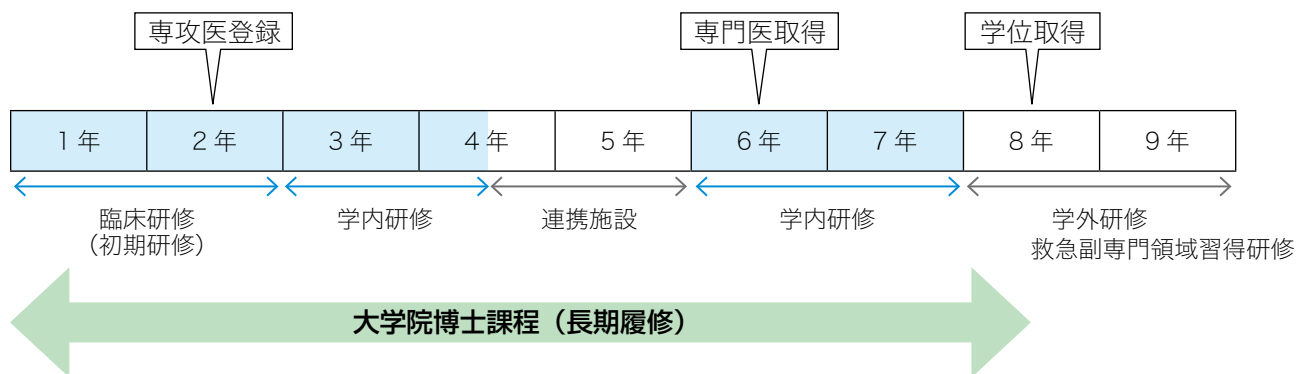
基本領域の専門医は、救急科専門医ですが、基本専門医取得後のサブスペシャリティとして、集中治療専門医、外傷専門医、ドクターヘリ認定指導者などの取得が可能です。また、救急科専門医は外科や内科など他の基本領域専門医を重複取得できる体制が整っています。



ローテーション例

一般枠コース

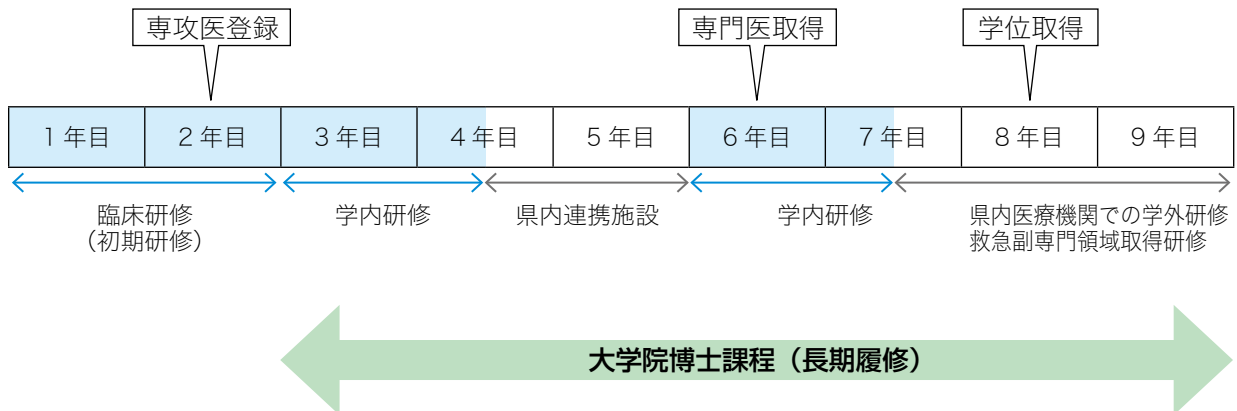
※ □ は学内研修



ローテーション例

県民医療枠コース

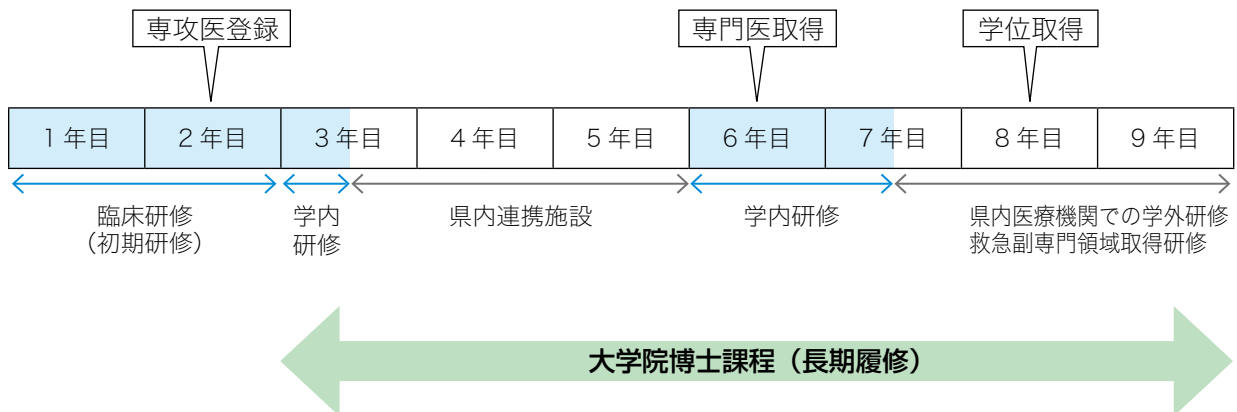
※ □ は学内研修



ローテーション例

地域医療枠コース

※ □ は学内研修



地域医療枠を卒業した救急専攻医の研修施設は、専門医機構の認める救急専門医プログラムに沿った研修が受けられるように、県及び本学地域医療支援センターと個別に研修先を協議して決定し、卒後6年目での専門医取得を目指します。

研修目標

原則として研修期間は3年間です。領域ごとの研修期間は、重症救急症例の集中治療(クリティカルケア)診療部門12か月、ER診療部門6か月から12か月(希望に応じて外傷外科またはドクターヘリ研修)、連携研修施設の救急部門でのクリティカルケア及びER診療、地域の二次救急医療機関におけるER研修を行います。基幹施設及び連携施設では、救急部門の指導医より、内因性/外因性の様々な救急疾患への対応、病院前救急診療、メディカルコントロールの基本的知識、救急領域の重症患者管理等を習得しますが、地域の病院においては、各病院の専門診療科指導医や遠隔ネットワークシステムを用いて基幹施設の指導医から指導を受け、プログラム修了後は、二次病院の救急部門で、専門各科の医師の協力を得ながら、独立して救急患者を受け入れることができる医師になります。

教授からのメッセージ



加藤 正哉 教授

和歌山県は2018年から2023年まで6年間の医療体制充実を図るために2018年3月に「第七次和歌山県保健医療計画」を策定しています。この中には、地域医療確保における重要課題5事業として救急医療、災害医療、へき地医療などを特に充実させるべく、様々な対策が盛り込まれています。和歌山県立医大附属病院と日赤和歌山医療センター2つの高度救命救急センターを有する本県の救急医療体制は、他府県に比べて恵まれているところもありますが、県全体の救急医療体制はまだまだ改善の余地があり、その基本となるのは質の高い救急専門医を確保することです。県は2023年時の救急専門医数を80人にす

経験目標

専門医機構の救急領域専門医の条件を満たす、症例、手技、知識を得ます。

る、という具体的目標を掲げていますが、目標達成のためには、2019年度から救急専門医プログラムに沿った研修を始めて、ようやく2022年に専門医審査を受けることが可能となる状況です。

和歌山県立医大高度救命救急センターは近畿圏で最初にドクターヘリ(DH)の基地病院となった救命救急センターで、16年の運航経験をもとにわが国の航空医療をリードする老舗の基地病院です。DHを効果的に運用するためには、フライトスタッフ個々の技量とともに、活動範囲全域での強力なメディカルコントロール体制(MC)が不可欠です。当センターは県立医大という背景をもとに、行政機関との密な繋がりを活用して、全県のMCを主導しています。ERから集中治療室までシームレスな救急医療を展開することで、個々の患者さんの予後を改善すると共に、地域全体の救急医療体制をよくする事ができる医師の育成を目指しています。

詳しくは医局ホームページ「研修案内」も参照して下さい。
→ <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/eccm/training/>

当科で取得可能な専門医と指導体制

研修施設	救急科専門医	集中治療専門医	外傷専門医	フライトドクター認定指導医
和歌山県立医科大学附属病院	7	3	1	2
日赤和歌山医療センター	4	1		
南和歌山医療センター	2			1
和歌山ろうさい病院	2		1	1
橋本市民病院	1			
新宮市立医療センター	1			
ひだか病院	1			
公立那賀病院	1			1
紀南病院	1			

